

# 現代アート×少林寺拳法



徳島県立穴吹高等学校

現代アートの象徴  
「光彫り」とは



美術作家ゆるかわふうさんが2008年に世界で初めて考案したオリジナル技法。「スタイロフォーム」とよばれる建築用の断熱材の背後から白色LEDを透過させると、鮮やかな色彩が放たれる。断熱材の表面を彫って厚みを変化させることで、薄いところは明るく、分厚いところは暗くみえるようになり光の陰影を生み出していく。

## 光彫りとの出会い

脇町うだつの町並みにてゆるかわふうさんの個展が開催。光彫りの作品の美しさに魅了される。暗闇に青く照らしだされる作品のまえで、静と動の強さある少林寺拳法の演武をしたいという気持ちになる。思いが通じ、光彫り個展のオープニングイベントにて演武披露が叶う。多くのひとの前で演武することは、自分自身の自信と誇りになった。また、地域に人が集まり、そこで出会う人たちとつながることでより地域が活性化していくのではないかと感じた。



光彫り作品展にて

## 人を魅了する作品と演武

人を惹きつける作品づくりをするゆるかわふうさん。地域の活性化の糸口を探るだけでなく、光彫り作品づくりの体験を通して、同じ表現者として、少林寺拳法の「人を惹きつける演武」につなげるきっかけにもしたい。



光彫り作家ゆるかわふうさんと

## はじめての光彫り体験

テーマは長崎の平和像のモデルとなった吉田廣一先生（本校の元教員）  
下書きは美術部の3年生の生徒が描きあげた

### … 光彫り制作の手順 …

- 1、書きたいテーマやイメージをかんがえる
- 2、下書きを断熱材に転写する
- 3、はんだごてを使って輪郭をとる
- 4、工具を使って光の陰影を調整しながら断熱材の表面を彫る



湯河原にあるアトリエ「トロピック」



吉田先生と平和をイメージした下書き



断熱材に転写する



輪郭をとる



全体のバランスをみて彫り進める

## 地域の活性化につなげるために

地域を活性化するために、たくさんの方が関わっていることを知った。観光資源の魅力を存分に生かしながら新たな企画や発信の方法で多くの方の興味関心を惹いている。今回は光彫り作品とコラボレーションして演武を披露したことで、それぞれの良さを引き出し、さらなる可能性の発見と地域の活性化に貢献することができた。またこの経験を通して、多くの方が自分たちの仕事に誇りをもち、自分自身が楽しみ、輝きながらイベントや地域活性化に関わっていることを学んだ。これからは、今以上に地域で行われているイベントなどに目を向けていく。そして将来、自分たちが地域を活性化させることのできる人材となれるよう、今回のご縁を大切に、何事も楽しく、ワクワクしながら取り組んでいく心を育てていきたい。